

第1回 市民ワークショップ ＜説明資料＞

～公共施設等総合管理計画について～

CONTENTS

－目次－

1.	草加市の現状と将来推計	1
2.	公共施設等総合管理計画とは	9
3.	アンケート調査結果に見る一般市民の意見	13
4.	市民ワークショップのねらい	18
5.	市民ワークショップの進め方	20

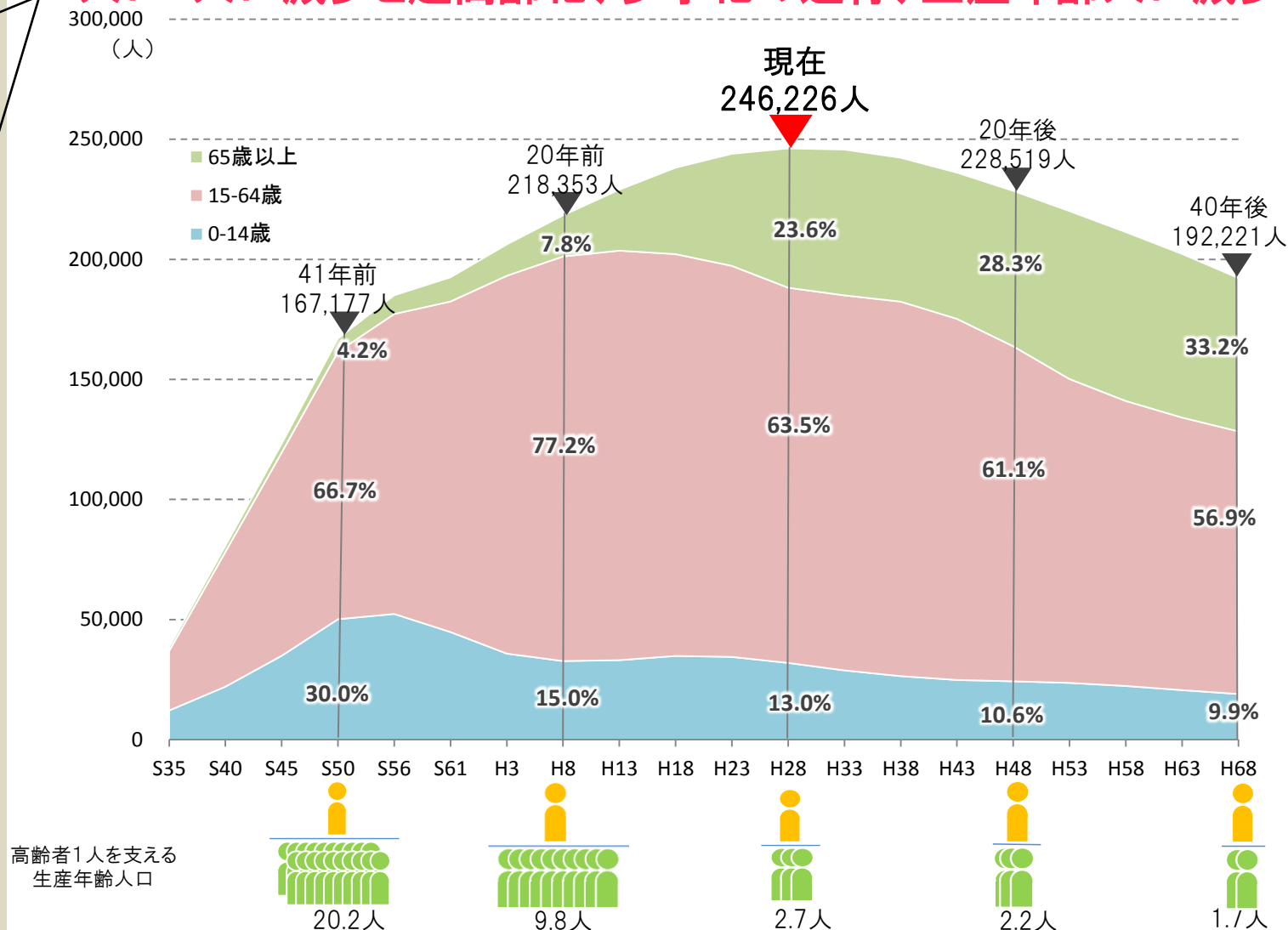
平成28年9月

20年後には65歳以上の人口が28%を超え
40年後には33%を超えます。

草加市の現状と将来推計①

※グラフの出典は、明記されていないものについては『草加市統計データブック2016』

人口：人口減少と超高齢化、少子化の進行、生産年齢人口減少

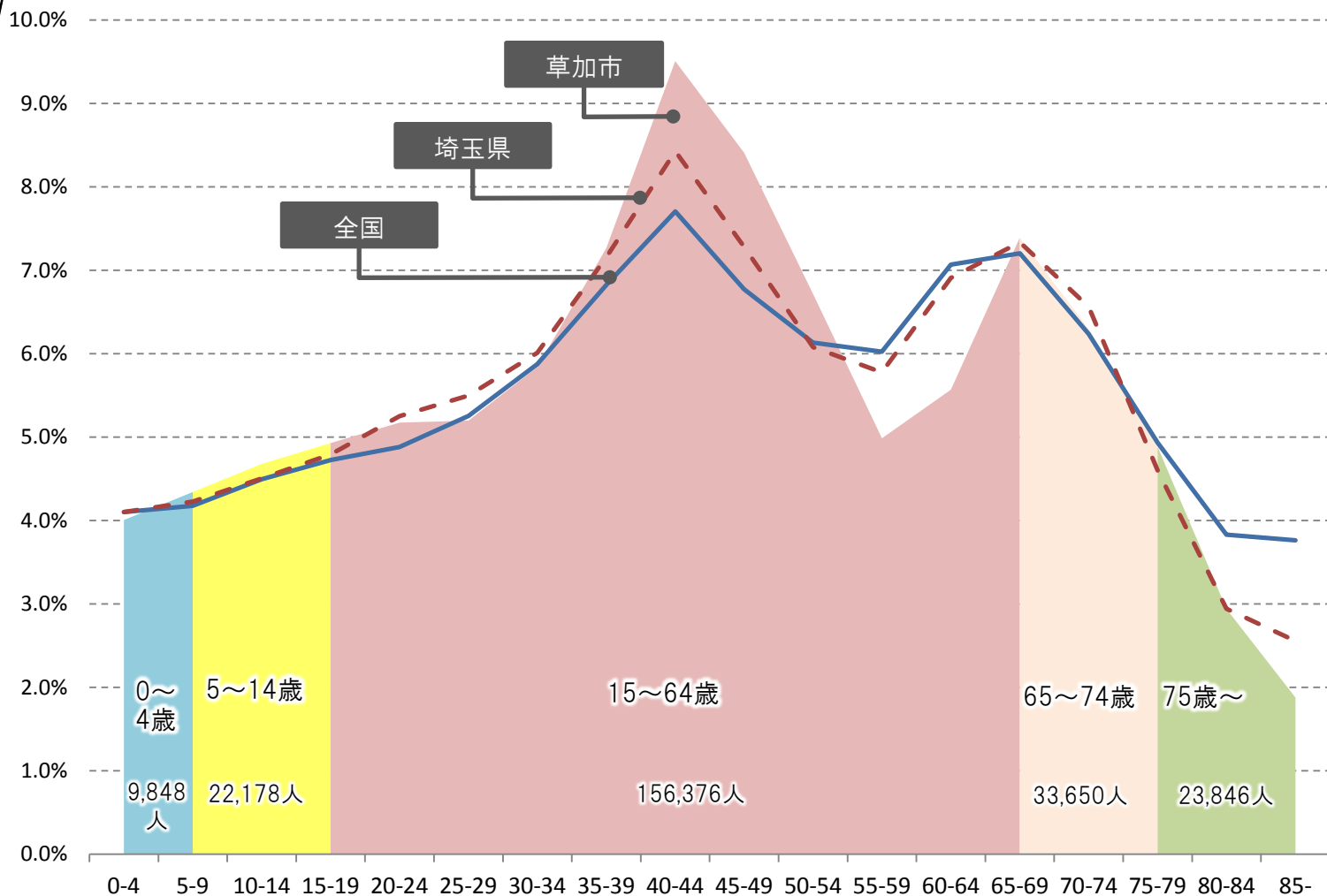


これまで草加市の総人口は増加を続け、平成28年4月1日現在で246,226人に達しています。
一方今後、総人口は減少に転じ、老年人口の増加と年少人口及び生産年齢人口の減少が予測されています。

草加市の現状と将来推計②

団塊ジュニア（生産年齢人口）が多いのが草加の特徴。その世代が高齢化する前に何とかしなくてはいいけません。

□人口：全国、埼玉県との比較

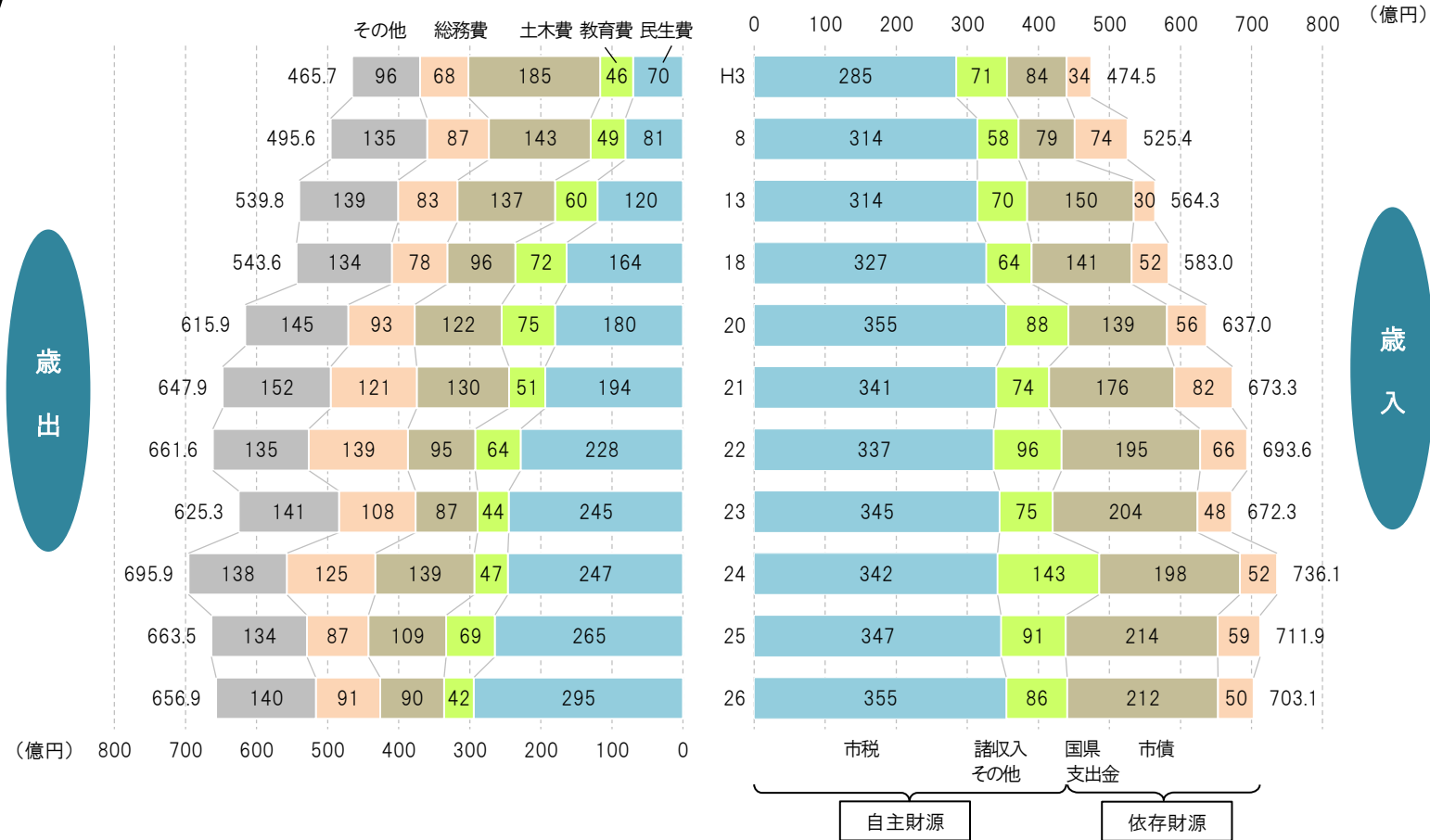


草加市の人口構成は、全国・埼玉県と比較すると、30歳～40歳代の比率が高く、50歳～60歳代前半及び75歳以上の比率は低くなっています。

草加市の現状と将来推計③

将来は人口減少と高齢化が進み
 税収増は期待できません。

行政コスト: 持続可能な財政の確立



資料: 各年度決算書

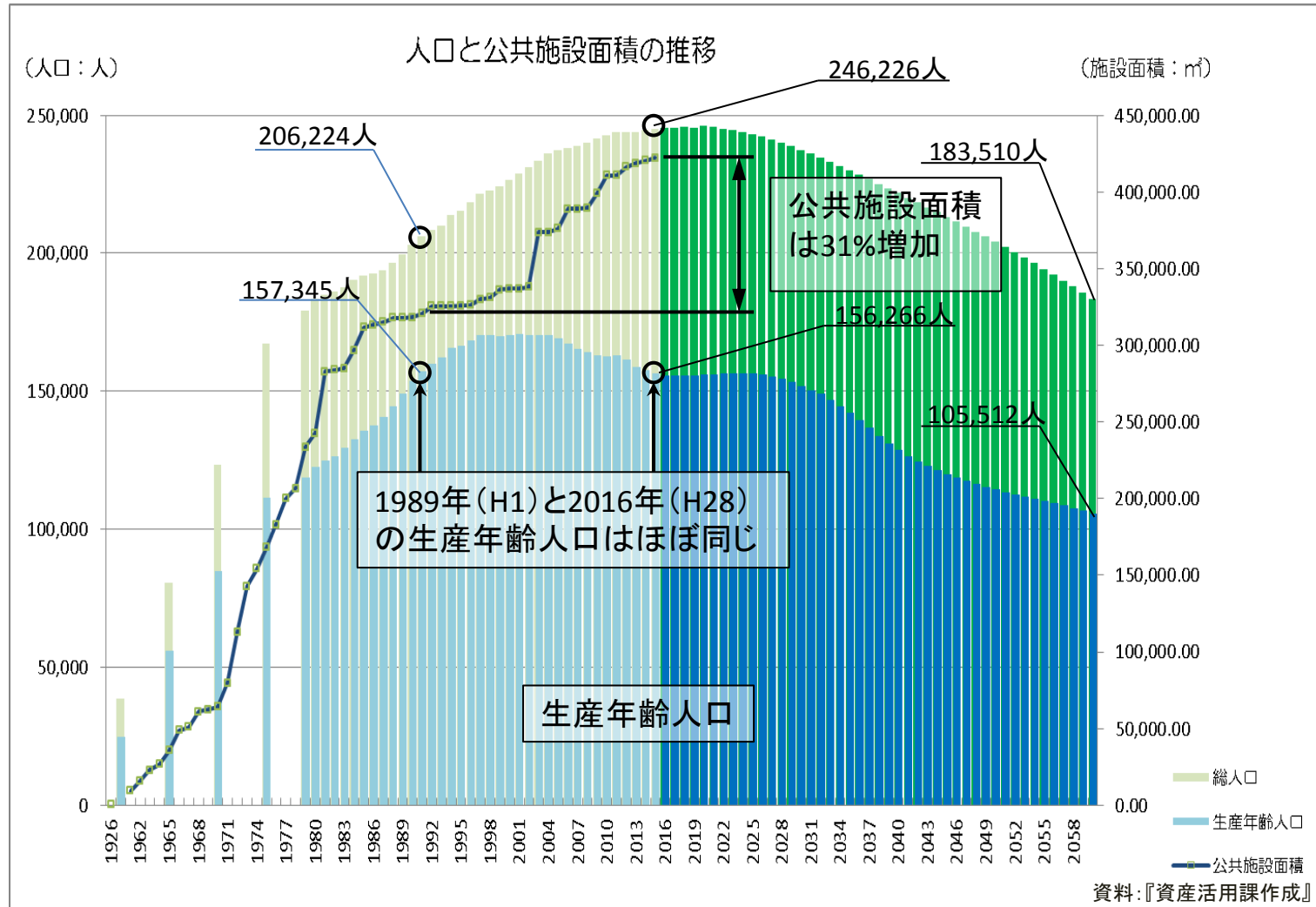
歳入については、市税などの自主財源は増加している一方で、国県支出金などの依存財源の割合も高なっています。

歳出については、福祉や子育て支援などの事業を行う民生費が年々増加しているのに対し、道路工事などの事業を行う土木費は減少傾向にあります。

草加市の現状と将来推計④

□人口と公共施設面積：持続可能な財政の確立

現在の生産年齢人口は平成3年とほぼ同じ。
しかし、公共施設は3割増えています。

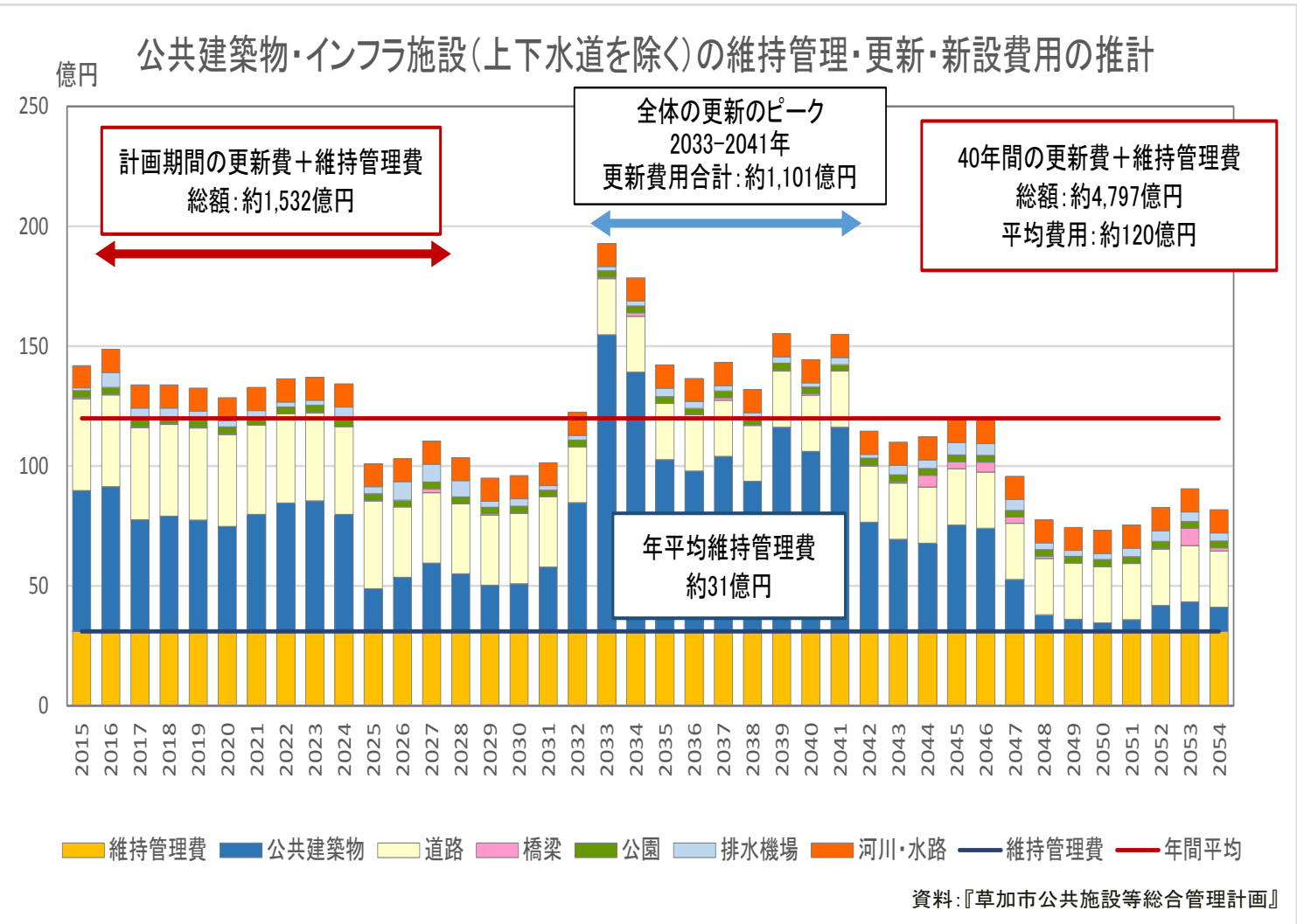


現在の生産年齢人口は、27年前とほぼ同じ水準だが、公共施設面積は31%増えている。
今後、人口減少に伴い、税収の増加が見込めない中、公共施設の総保有量の適正化が必要。

草加市の現状と将来推計⑤

公共施設：公共施設の維持・更新に必要な経費

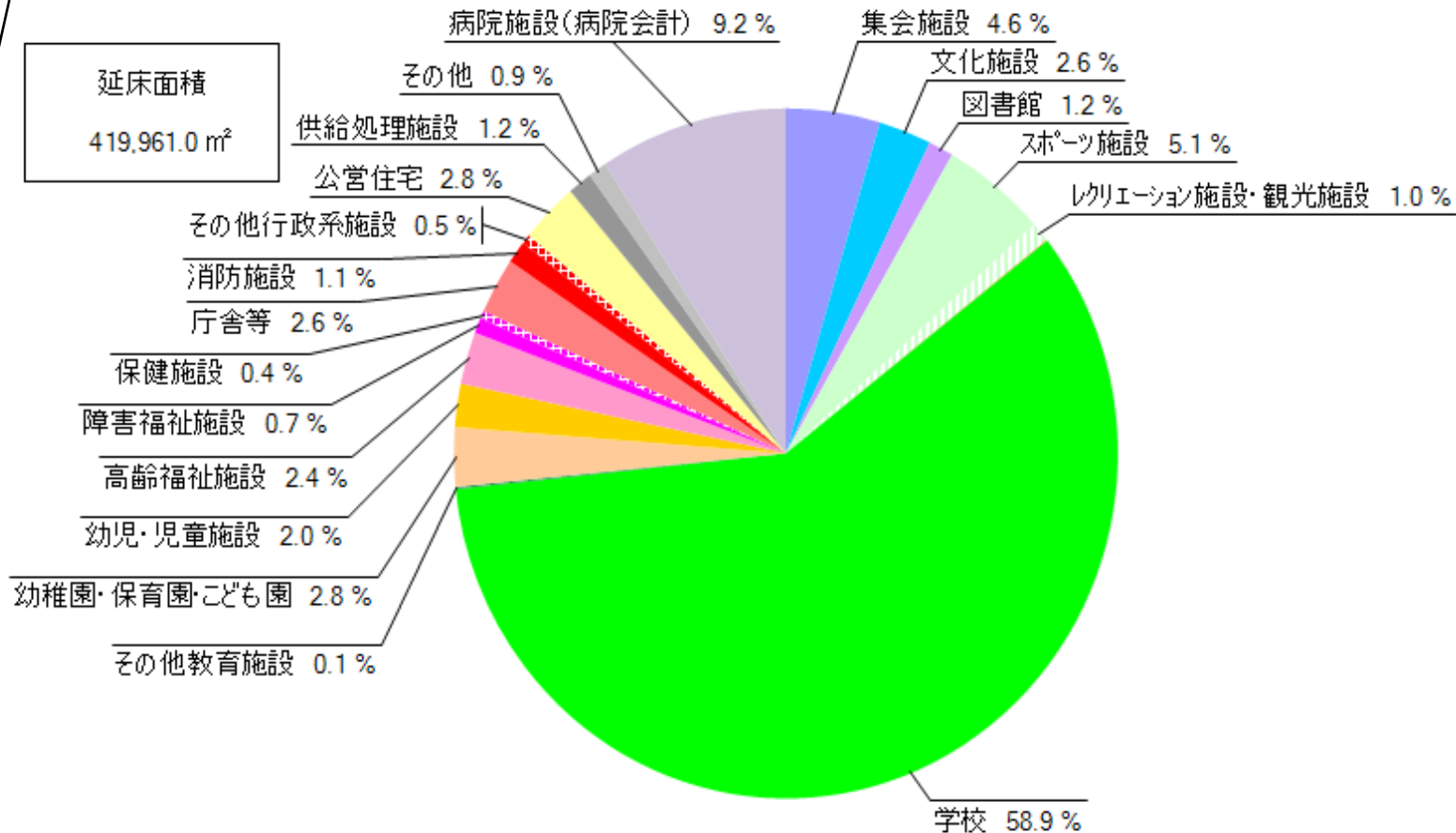
このままでは、公共施設を適切に維持していくことが難しい状況です。



現在の公共建築物の延床面積とインフラ施設をすべて維持した場合、更新及び維持管理にかかる費用は40年間で約4,797億円で、年平均にすると約120億円(市のH28年間予算約715億円の17%)と試算されます。

草加市の現状と将来推計⑥

□ 公共施設：草加市の公共施設の類型別床面積比率



資料：『草加市公共施設等総合管理計画』

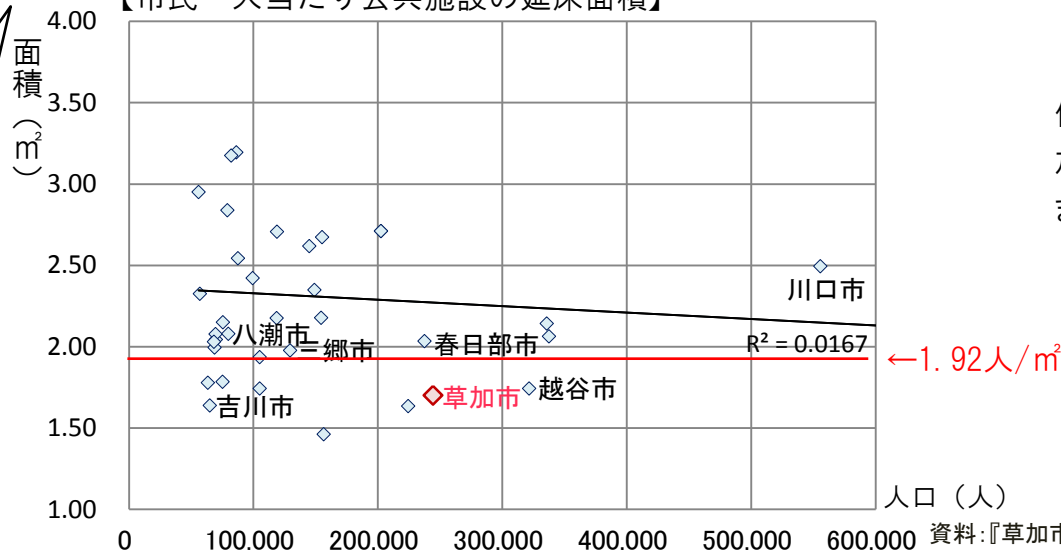
多様な機能を持っている学校が
公共施設床面積の約6割を占めています。

草加市の公共建築物の延床面積のうち約6割を学校が占めています。一方、児童生徒数は減少し始めています。多様な機能を持つ学校の活用がこれからの「鍵」となります。

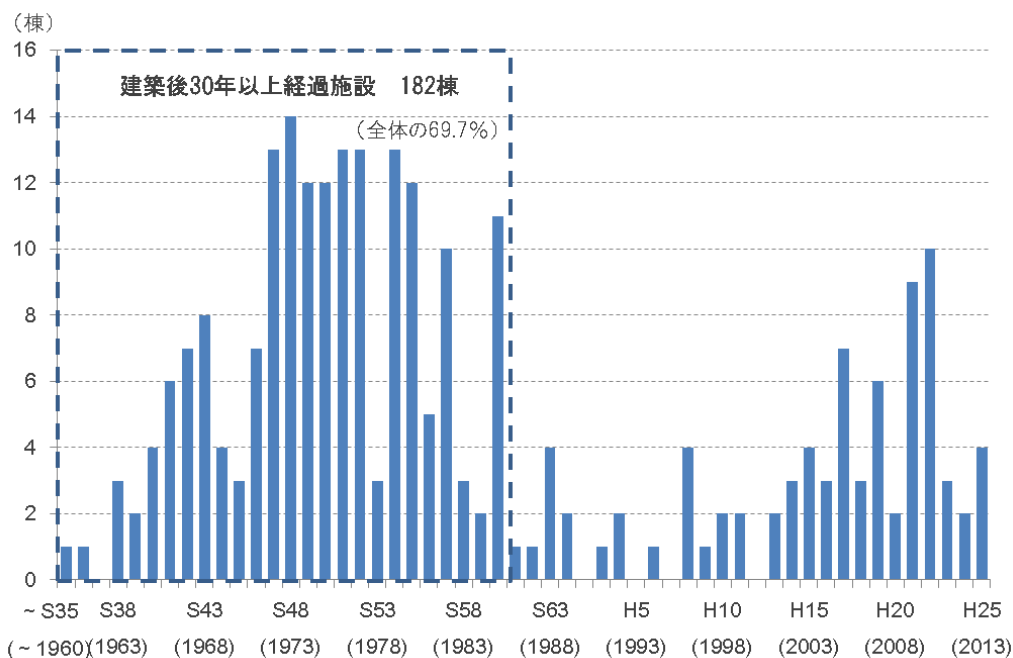
草加市の現状と将来推計⑦

他の自治体と比較して公共施設が少ない上に老朽化も進んでいます。

【市民一人当たり公共施設の延床面積】



人口25万人以上の自治体の平均1.92㎡に対し、草加市では約1.7㎡となっています。



昭和40年代以降の急速な人口増加に併せ、下水道、道路などのインフラや公共施設の整備を進めてきましたが、こうして整備した施設などの老朽化も進んでいます。

草加市の現状から見てくること

- 人口減少、少子高齢化、扶助費の増大など、公共施設の維持管理・更新にかかる費用の捻出ができなくなる時代がすぐそこまで迫っている。

このまま放っておくと...

- 「物理的崩壊」(事故: 笹子トンネルなどの事例)
- 「財政的崩壊」(施設の閉鎖: 春日部市民プールなどの事例)に繋がってしまいます。

では、どうすれば...

- 最も単純な答えは……「公共施設を減らすこと!」

しかし...

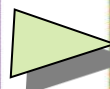
- 単純に施設のみを減らすということは市民サービスの水準を減らすことと同義。

草加市の考えは...

公共施設が提供している複数の機能を統合したり、施設を複合化したりして効率化し、全体の床面積は適正化していくが、機能そのものや、市民サービスの水準を低下させないようにしていきたい。

公共施設等総合管理計画とは

草加のめざす
都市像



快適都市
～地域の豊かさの創出～

まちづくりの根幹をなす計画

総合振興計画

本市の将来像を示し、これを実現するための施策の方針を定めたもの。

都市計画マスタープラン

本市のまちづくりのビジョンを総合的かつ体系的に示す指針として策定するもの。

健康・福祉関連

スポーツ関連

教育関連

その他

安全安心関連

環境関連

防災関連

産業振興関連

男女共同参画関連

まちづくり関連

「公共施設等総合管理計画」

- 総合振興計画・改定都市計画マスタープランを実現するための分野別計画の一つです。
- 草加市の公共施設等の今後のあり方について、基本的な方向性を示すもの。
- 平成27年度に行政の視点で策定し、平成28年度以降に市民の皆様のご意見を伺いながら計画内容の充実化を図っていきます

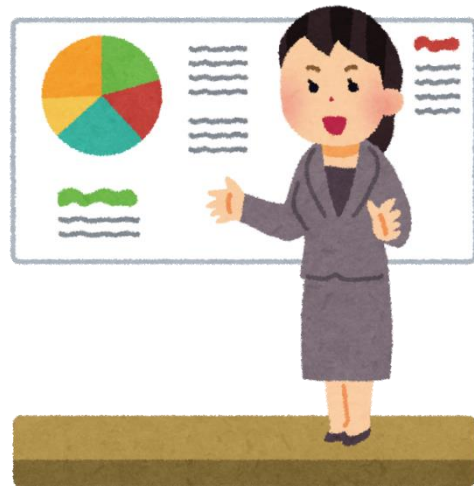
草加市公共施設等総合管理計画における基本方針①・②

□公共施設の「量」を見直す

～ムダを省く～

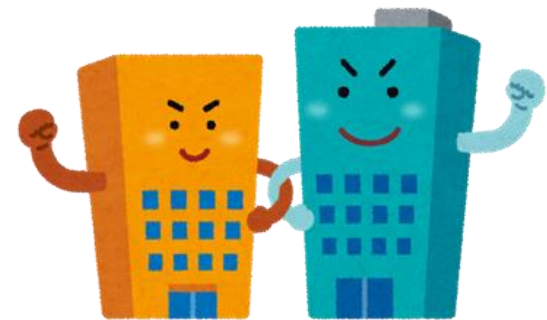
① 公共施設の保有総量の適正化

あまり使われていない施設については、積極的に集約・複合化や廃止をすすめ、市の**公共施設の保有総量を適正**にしていけます。



② 新たな公共施設の建設は既存施設のスクラップ&ビルドを条件

公共施設の保有総量を適正にするため、新しい公共施設をつくる場合には、**同じような施設を複数廃止(スクラップ)し、新しく建設(ビルド)する施設に集約**することを条件とします。



公共施設の維持が難しい状況ならば
適正な「量」にしていかなくてはけません。

草加市公共施設等総合管理計画における基本方針③・④

限られた財源で施設を運営していくためには、知恵と工夫が必要です。

□公共施設の「質」を見直す ～空間活用の工夫～ (1)

③ 公共サービス内容の吟味と民間サービスの活用

行政が行うべき公共サービスと民間等にゆだねるべきサービスを仕分けして、さらなる**官民連携を検討**します。また、施設の利用料についても見直し、市民の負担を公平にします。



④ 「1施設・1機能」の縦割型サービスからの脱却

ひとつの施設に複数の機能を盛り込む「**1施設・多機能**」化を積極的に進めることで、施設を合理的に利用できるようにするとともに、機能どうしの連携などにより公共サービスの質を向上させます。



草加市公共施設等総合管理計画における基本方針⑤・⑥

□公共施設の「質」を見直す ～空間活用の工夫～ (2)

⑤ フルセット配置から地域特性に応じた配置へ

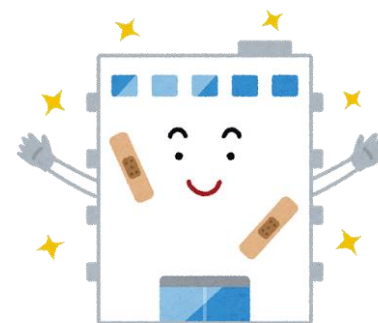
10のコミュニティブロックごとにまったく同じように公共施設を配置する「フルセット配置」はもはや困難であるため、**地域ごとのニーズを踏まえて必要な機能を誘導**することで、地区にとって使いやすい地区拠点の形成を目指します。



□公共施設を「長く」使う ～長寿命化～

⑥ 「長寿命化」の推進によるコスト削減

施設の建替えや大規模な改修に係る費用をできるだけ少なくするため、計画的に補修を行い、安全性を確保しながら、できるだけ長く建物を使い続ける「**長寿命化**」を進めます。



は直今
いあ
ける
ま施
せん設
。を
大
切
に
「
長
く
」
使
わ
な
く
ば
て

アンケートから見えてくること①

□公共施設のありかたに関するアンケート概要

■実施概要

○実施時期：平成28年7月20日～8月3日

○対象：市内在住の20歳以上の方から3,000人を無作為に抽出

○調査方法：郵送による配布回収

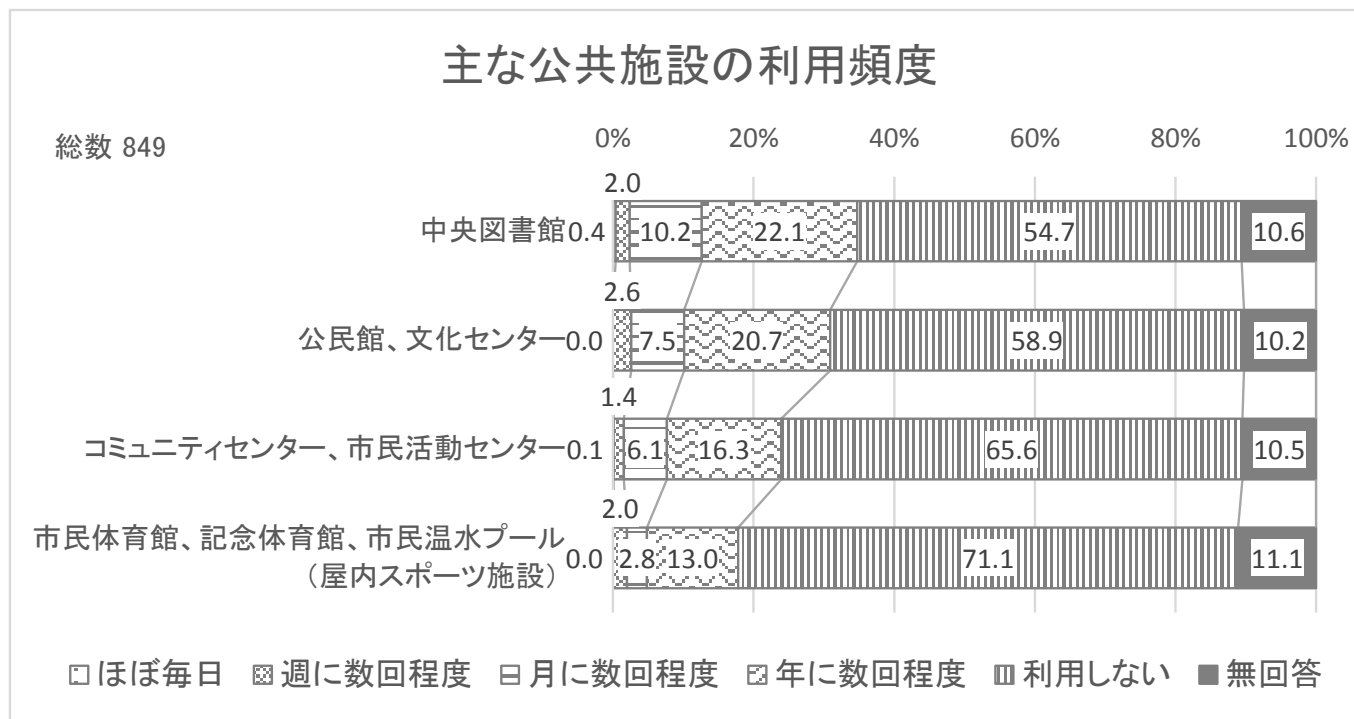
○回収数及び回収率

回収数 (a)	白票 (b)	有効回収数 (c=a-b)	回収率 (a/3,000)	有効回収率 (c/3,000)
854票	5票	849票	28. 5%	28. 3%

アンケートから見てくること②

□主な公共施設の利用頻度

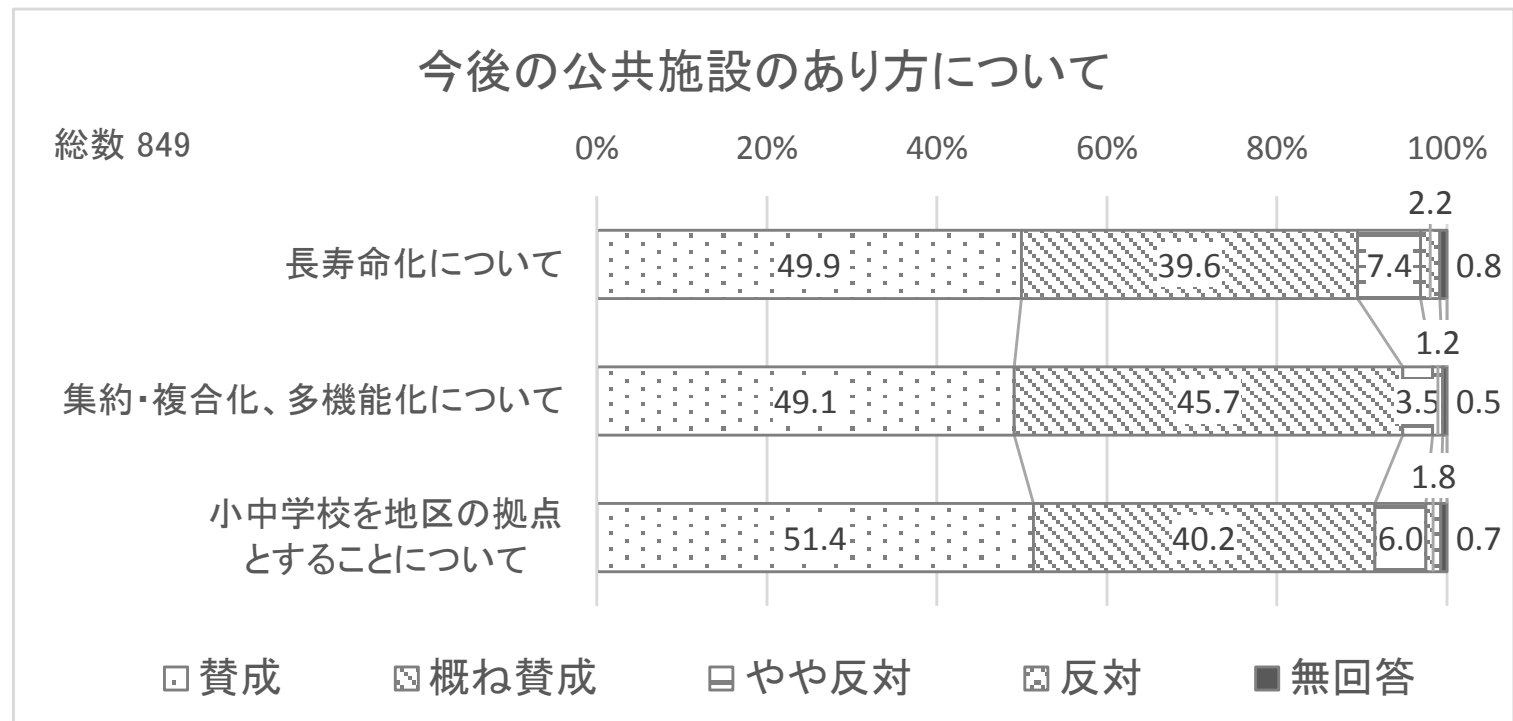
比較的多様な世代が利用する公共施設である、文化教育施設、コミュニティ施設、屋内スポーツ施設の利用頻度について見ると、最も利用の多い中央図書館でも年数回以上利用しているのは全体の1/3程度であり、半数以上の市民は利用していない。そのほか、利用していない人の比率は「公民館、文化センター」で6割弱、「コミュニティセンター、市民活動センター」で6割台半ば、屋内スポーツ施設で約7割となっており、施設利用は一部の人に限られている。



アンケートから見てくること③

□今後の公共施設のあり方について

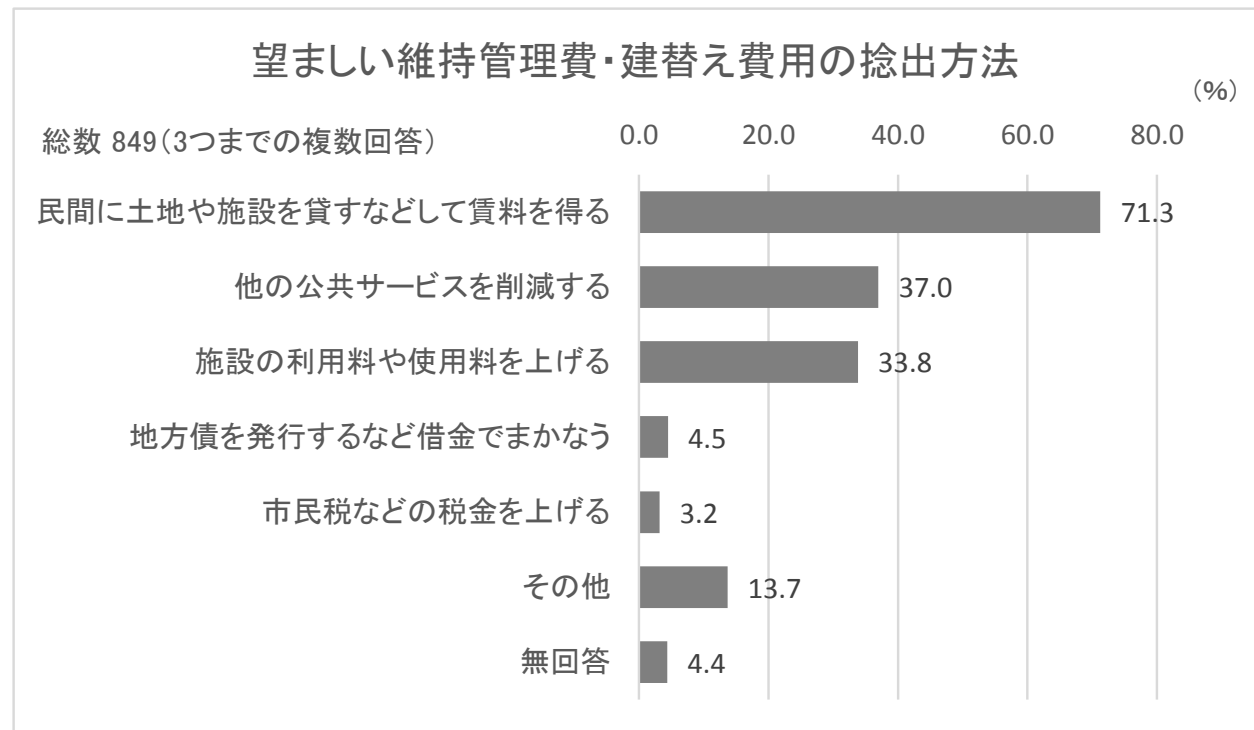
『公共施設等総合管理計画』で示した今後の公共施設のあり方については、長寿命化、集約・複合化、多機能化、小中学校の地区拠点化のそれぞれで、賛成と概ね賛成の合計が90%以上を占めており、基本的な考え方については概ね了解が得られているものと考えられます。



アンケートから見てくること④

□望ましい維持管理費・建替え費用の捻出方法

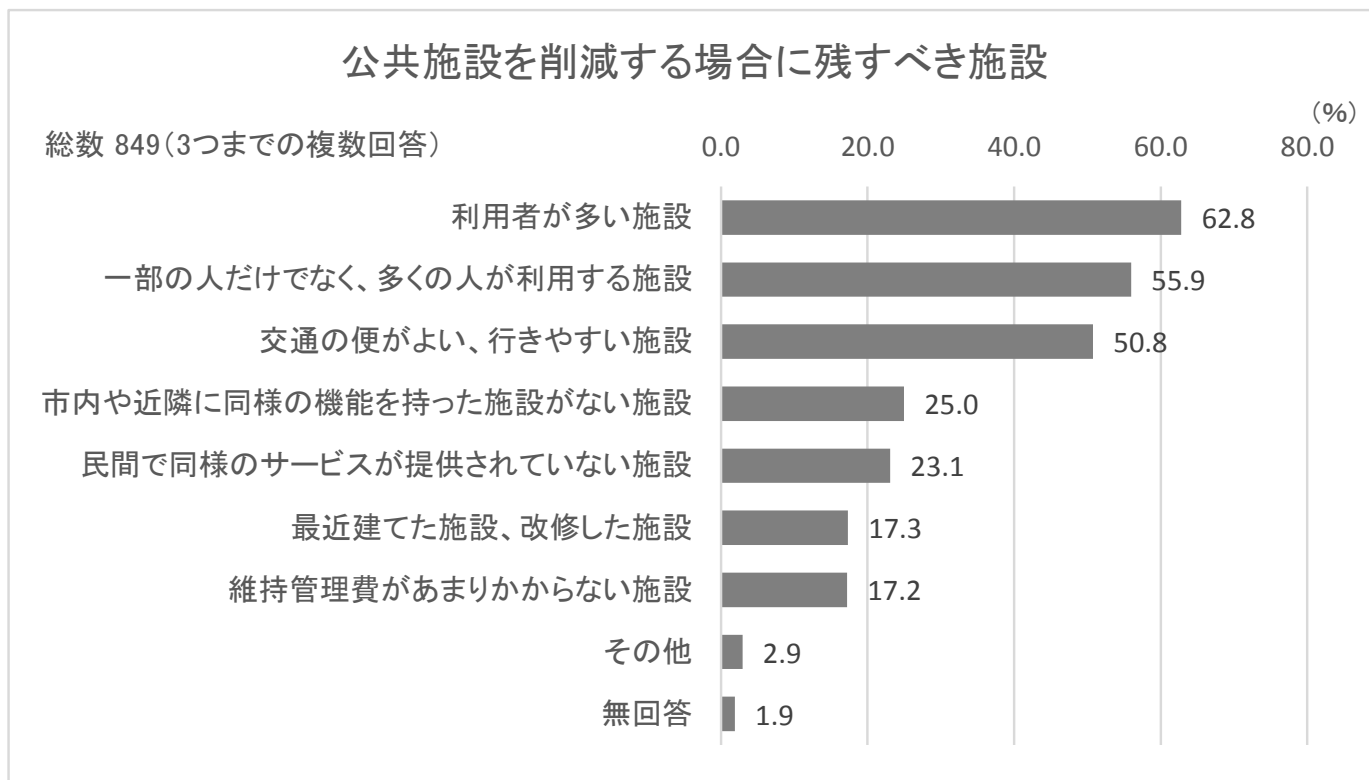
望ましい維持管理費や建替え費用の捻出方法としては、「民間に土地や施設を貸すなどして賃料を得る」が7割以上で最も多く、これ以上負担を増やすのではなく、今以上にお金を稼ぐことで費用を賄うべきと考えている市民が多いことを示しています。また、「他の公共サービスを削減する」、「施設の利用料や使用料を上げる」も3割台と高くなっています。



アンケートから見てくること⑤

□公共施設を削減する場合に残すべき施設

今後、公共施設の統合などによって施設を削減する場合、どのような施設を残すべきかについては、「利用者が多い施設」が約6割で最も多く、「多くの人が利用する施設」、「交通の便のよい、行きやすい施設」なども5割以上と多くなっており、多くの人が利用する、行きやすい施設を残すべきとの意見が多くなっています。



市民ワークショップのねらい①

□草加市の現状

□総合管理計画
で定めた「基本
方針」

□市民アンケート
の結果

□「草加市の現状」を基に課題を共有し、「市民アンケート」の結果を踏まえ、「基本方針」について市民の皆さんのご意見をお伺いします。

□そのうえで「基本方針」に基づき、公共施設を有効に活用するためのアイデアを募ります。

□将来の公共施設の在り方や配置案に役立てます。

市民ワークショップのねらい②

❑ 将来的に人口が減少し、今ある公共施設の維持が難しくなるのは疑いようのない事実であり、「時間の問題」です。しかしながら、草加市においては、直ちに人口が減少する状況ではありません。

❑ だからと言って、このまま放っておく訳にはいきません。今から準備していかなければなりません。

❑ これから話し合う内容は、今すぐに答えが出る性格のものではありませんが、将来の公共施設のあり方を考える上で必要となります。

～市民ワークショップの主な話し合いの内容～

第1回
草加市の公共施設の現状と
課題について学ぼう！

今回は
コレ!!

第2回(10月下旬～11月上旬)
公共施設の機能などについて
考えよう！

第3回(12月～1月)
第2回の話し合いをふまえて、
公共施設の配置などを考えよう！

今日の話し合いの目的
総合管理計画の基本方針について市民の皆さん
のご意見を伺い、計画を充実させること。

草加市公共施設等総合管理計画

第1回 市民ワークショップ

＜ワークショップの進め方＞

本日の時間割

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 第1回投票(順次) | ～19:00 |
| 2. 挨拶,趣旨説明等(10分) | 19:00～19:10 |
| 3. 資料説明(20分) | 19:10～19:30 |
| 4. 進め方の説明(10分) | 19:30～19:40 |
| 5. グループ討議(45分) | 19:40～20:25 |
| 6. 発表,全体討議 (20分) | 20:25～20:45 |
| 7. 第2回投票・結果報告(10分) | 20:45～20:55 |
| 8. 連絡事項,閉会(5分) | 20:55～21:00 |

1 本日の目標

市が考える、

草加市の

将来の公共施設のあり方 や

維持管理や更新などに関する「方針」

について、意見を出し合いましょう。

2 模造紙のとりまとめイメージ

新田西部1班	参加者: ○○, ○○, ○○, ○○, ○○○	2016年9月00日 第1回市民WS
市の方針	良いと思う点	追加や改善が必要だと思う点
方針1 公共建築物の「量」の適正化		
方針2 新たな公共建築物の建設は既存施設のスクラップ&ビルドが条件		
方針3 公共サービス内容の吟味と民間サービスの活用		
方針4 「1施設・1機能」の縦割り型サービスからの脱却		
方針5 フルセット配置から地域特性に応じた配置へ		
方針6 「長寿命化」の推進によるコスト削減		

市の方針について良いと思う点はピンクの付箋に

市の方針について追加や改善すべき点は黄色い付箋に

3 意見交換の進め方

- 将来の公共施設のあり方に関する6つの市の方針のそれぞれについて、**良いと思う点**について意見を出し合いましょう。

意見例：方針4で、ひとつの施設に多様な機能があった方が、1つの場所で色々な用事を済ませることができてよい。

- それぞれの方針について、**修正した方がよい点**や**つけ足した方がよい点**などについて意見を出しましょ

意見例：方針2について、今後、新たに整備が必要となる公共施設が出てくる可能性があるため、スクラップ&ビルドを条件とするのは行き過ぎではないか。

- 6つの方針に当てはまらない内容の意見については、**新しい方針**として提案していただいてもかまいません。

■意見交換での注意事項(お願い)

- 意見は必ず付箋にご記入ください。付箋に書かれていない意見は記録として残りません。
- 1枚の付箋に記入する意見は1つに。
- 他の参加者の発言をよく聴き、自分の考えを広げましょう。
- 限られた時間の中で全員が発言できるよう、発言は手短かに。
- 互いを勇気づけ、意見を言いやすい雰囲気をつくりましょう。

※ 投票について

- 市民アンケートから抜粋した質問について、会議の前後で2回投票をしていただきます。
- 市民アンケートに回答された方も、投票してください。市民アンケートで回答された内容と今日の投票内容が違っていてもかまいません。
- 投票はシールで行います。シールは投票前に配布しますので、スタッフからシールを受け取り投票してください。
- 貼っていただくシールの枚数は3枚です。